

# 第1・2学年国語科学習指導案

日時 平成21年9月11日(金)

児童 1年 男1名 女2名 計3名

2年 男3名 女0名 計3名

授業者 横田 祥世

## <第1学年>

- 1 単元名 よく見てかこう  
教材名 しらせたいな, 見せたいな  
(光村1年下)

### 2 単元について

児童は、「すきなもの, おしえて」の単元で, 人に尋ねたことを作文に書く学習をした。2文だけで構成された文章であったことと, くり返し音読を行ったこともあり, 児童はスムーズに文の構成をすることができた。表記があまり得意でない児童も, 好きな人にインタビューして書くという活動に興味をもち, 粘り強く取り組むことができた。

本教材は, 児童が興味をもったものをほかの人に文章だけで知らせようとする学習である。しかし, 絵を描いて, その絵を見ながら説明する内容をひとつずつ考えていくことができるので, 児童は楽しみながら文章を考えていくことができる内容である。また, 個々の短冊を続けて読みながら, 読点の位置を学習することができる教材であるので, 作文指導の良い出発点にできると思われる。

指導にあたっては, 「知らせたい。」と思う対象とかかわる時間を大切に, 思いを膨らませ, 書く意欲につなげるようにする。よく観察し, 人に伝えるために文章を書くのだということを意識させたい。そのために文章の組み立てを考えたり, 表現を工夫したりする必要があること, 書いた文章は読み直し, 間違いがないか確認・修正しなくてはならないことを学び取らせたい。また, 2年生との交流を通して, 言葉のもつおもしろさに触れ, 次学年への意欲付けとしたい。

### 3 単元の目標

- ◎ 知らせたいと思うことを家の人や学校の人などに伝えようとし, よく見て書くことができる。

## <第2学年>

- 1 単元名 みじかいことばで書こう  
教材名 見たこと, かんじたこと  
(光村2年下)

### 2 単元について

児童は, 想像力があり, 発想豊かである。書くことに対しては, 消極的な面はあったが, 「もうすぐ夏休み」の学習や視写を取り入れた授業で, 抵抗感は薄れてきた。日記を書くことの継続や, 個別指導でも意欲をもって書くことができるようになってきている。また, 既習事項を生かして, 工夫して書こうとする態度も育ってきている。しかし, 文章を書くときのきまりや構成を理解してはいるものの, 表現そのものは画一的になりやすい傾向がある。同じことを述べるにもさまざまな表現の仕方があり, その中で今の自分の考えにより近い適切な表現を選んで書くことができるようにさせたい。

本教材は, 「短い言葉で表現する力」を育てることが主なねらいである。語彙の少ない児童であっても, 具体物を見たり触ったりしながら, 少しでも自分の視点に近い言葉を見つけようとすることで, その楽しさを体感させられる教材である。この教材を通して, 児童が「言葉っておもしろいな。」と感じることができれば, これからの表現活動への興味につなげることができる。そのために, 言葉遊びの要素を取り入れ, 楽しみながら語彙を広げていける教材である。

指導にあたっては, イメージをしやすいように具体物の観察の観点を示し, 話し合いをすることで友だちのイメージも取り入れながら, 語彙を広めていきたい。また, 具体物を豊富に用意し, 児童の取り組みやすいものを選ばせてやることで, 児童がより抵抗感の少ない活動ができるよう配慮したい。なぞなぞの形で比喩表現に触れさせ, 何かたたとえて表現することの言葉の面白さを実感させることで, 意欲を持って学習を進められるようにしていきたい。また1年生との感想交流を通してお互いの学習内容を確認めあい, 学級としての一体感をもたせたい。

### 3 単元の目標

- ◎ 見たことや感じたことを短い言葉で書くことを楽しむことができる。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	好きな動物や植物などを見つけて、家の人や学校の人々に書いて知らせようとしている。
書くこと	「絵カード」に、名前や色・形・様子などの特徴を書き留めている。
書くこと	カードをもとに文章にまとめている。
言語事項	書いた文を、句点の打ち方や文字に注意して読み直し、間違いを直している。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	詩の表現の面白さに気づき、自分も表現しようとする。
読むこと	教科書の詩を読み、その表現方法を理解し楽しもうとする。
書く	自分の見たこと、感じたことがよく分かるように、短い文で表そうとする。
言語事項	物の特徴を考えた言葉や、言い回しをしようとする。

5 指導計画と評価規準

<第1学年> (8時間)

段階	時間	学習活動	評価規準	
			関心・意欲・態度	主となる領域
第一次	1	教科書を読み、学習の見通しをもつ。	見つけたものを知らせることに興味をもつ。	
	2	知らせたいものを探し、カードに絵を描く。	知らせたいものを進んで探し、絵に表わそうとする。	
第二次	1	絵カードに見つけたことを言葉で書き込む。	知らせたいものや自分の絵をよく見て、書くことを探そうとする。	色や形・様子などについてカードに記述しようとしている。(書)
	1	カードに書き込んだ事項を文章にする。(本時)	教科書を参考にして、語尾に気をつけながら文章化しようとする。	言葉と文章との違いを考えて文章化しようとしている。(書)
	1	知らせたいことを紹介する文章を書く。	語尾に気をつけて文章を書き、全文を通して推敲しようとする。	文の続き具合や読点の位置などを考え、必要に応じて修正・加筆しようとしている。(書)
第三次	1	清書・読み直しをして、発表会の練習をする。	丁寧に清書し、間違いがないか確認しようとする。	丁寧に作文を写し、読み直しをして、修正・加筆をしようとしている。(書)
	2	合同発表会をする。	声の大きさや態度、姿勢に気をつけて発表しようとする。	聞く人に伝わるように気をつけて発表しようとしている。(話・聞)

<第2学年> (4時間)

時間	学習活動	評価規準	
		関心・意欲・態度	主となる領域
1	教科書の詩を読み、その表現の方法を理解し、学習の見通しをもつ。	詩の表現に興味をもち、表現することに意欲をもつ。	詩の表現の面白さを理解している。(読)
1	具体物を見たり触ったりしてイメージしたことを、短い言葉で表現する。(本時)	具体物に進んで触れてみて、イメージを広げようとしている。	具体物に触れることから、自分なりの表現を考えている。(書)
1	詩の内容から題名を当てる面白さを知り、クイズを作る。	クイズになる詩を楽しみながら作ろうとする。	具体物の特徴を表すような詩を考え、クイズを作っている。(書)
1	詩の題名当てクイズをし、表現の工夫を味わう。	詩の内容表現から、楽しんで題名を推測しようとしている。	詩の表現を味わい、題名を考えている。(読)

6 本時の指導

<第1学年>

<第2学年>

(1) 目標

- ◎ カードに書き込んだ言葉とそれを文章化したものとの違いを理解し、言葉を文章化することができる。

(2) 具体の評価規準

<b>A 十分満足</b>
例示された言葉と文章を比較し、その違いが分かり、自分のカードの言葉を文章に直すことができる。
<b>B 概ね満足</b>
例文を見ながら真似をして、カードの言葉を文章に直すことができる。
<b>C 努力を要する児童への手立て</b>
虫食いプリントを準備し、口頭で質問して埋めさせることをくり返し、自力の文章化に迫らせる。

(1) 目標

- ◎ 具体物を見たり触ったりしてイメージしたことを、短い言葉で表現することができる。

(2) 具体の評価規準

<b>A 十分満足</b>
具体物を生かして豊かにイメージを広げ、短い言葉で表現することができる。
<b>B 概ね満足</b>
具体物を使ってイメージを考え、自分なりに表現することができる。
<b>C 努力を要する児童への手立て</b>
イメージを広げるために、問いかけながら考えさせる。

(3) 展開

指導上の留意点 (・)	学習活動	形態	形態	学習活動	指導上の留意点 (・)
評価(☆)					評価(☆)
	1 本時の学習課題を把握する。	つかむ (3分)	つかむ (3分)	1 本時の学習課題を把握する。	
	カードのことばをもとに、ふんをかこう。			イメージを広げて、みじかいことばで書こう。	
・ 文末表現等に気をつけて音読をさせる。	2 教科書の例文を音読する。	見通す	見通す	2 イメージの広げ方をつかむ。 ・ 例示された具体物を見て触って、イメージしたことを話し合う。	・ 直接指導でイメージの広げ方を学ばせる。

<ul style="list-style-type: none"> <li>1文を取り上げ比較させることで詳しく書くことのよさに気づかせる。</li> <li>話し合ったことを板書し、確認してから文章を書かせる。</li> </ul>	<p>3 絵カードと例文を見比べて、文章化するにはどうすればよいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくする, 丁寧にする。</li> <li>最後に「です。」「ます。」をつける。</li> <li>「～は」ではじめる。</li> </ul>	(15分)	(15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合ったイメージを紙板書に書き込む。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>紙板書の色と短冊カードを照らし合わせるようにさせる。</li> <li>活動が難しい子どもに対してはプリントを使用し, 自力解決に結びつけるように支援する。</li> </ul> <p>☆ 言葉と文章の違いに気づいているか。</p>	<p>4 カードをもとに文章を書く。</p> <p>(書き方)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>色分けした用紙にひとつずつ書く。</p> <p>文の終わりに「。」をつける。</p> </div> <p>5 短冊カードを読み直し, 誤字・脱字・句点の有無を確認・修正する。</p> <p>(修正の観点)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「～は」で始まっているか。(主語があるか。)</p> <p>「です。」「ます。」で終わっているか。(丁寧な語尾か。)</p> <p>丸「。」がついているか</p> <p>間違った字はないか。</p> </div>	深める(20分)	深める(20分)	<p>3 自分の決めた具体物についてイメージを広げ, 短い言葉に表わす。</p> <p>① 具体物に触れ, 確かめて書く題材を選択する。</p> <p>② 前時の学習内容をもとに, 表現の仕方を確認する。</p> <p>③ 自分の題材に触れながら, 短い言葉で書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択肢を広げられるよう具体物をたくさん準備する。</li> <li>活動が難しい子どもに対しては, 見通す段階の紙板書や, 教科書の例文を提示しながら支援する。</li> <li>1編で終わらずいくつも具体物を使って, 数編作らせる。</li> </ul> <p>☆ 具体物を自分なりの角度から表現することができたか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>異学年交流をして, 今日の学習を確認させる。</li> </ul>	<p>6 書いた文章を2年生に紹介する。</p> <p>7 2年生の発表に対する感想を述べる。</p> <p>8 次時の学習内容を確認する。</p>	まとめる・ひろげる(7分)	まとめる・ひろげる(7分)	<p>4 1年生の発表に対する感想を述べる。</p> <p>5 自分で考えた短い言葉を発表する。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異学年交流をして今日の学習を確認させる。</li> </ul>

